

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0191500115), 法人名 (有限会社 ハマダコーポレーション), 事業所名 (グループホーム おもひで・桜(2階ユニット)), 所在地 (北海道茅部郡森町字森川町223-21), 自己評価作成日 (平成30年2月1日), 評価結果市町村受理日 (平成30年4月2日)

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL: http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2_017_022_kihon=true&JigyosyoCd=0191500115-

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (平成30年2月27日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

和風住宅でインテリアに工夫し、昔懐かしい雰囲気を残し、家庭的な環境を壊さないようにしている。暖かい時期は外出の機会をもち、季節を感じてもらえるよう、季節ごとの行事や食事作りにも力を入れている。また、ご家族様にも行事に参加してもらい、入居者様・御家族様・職員と深い繋がりが持てるよう日頃から努めている。森町認知症の人と共に歩む会の研修や行事にも参加させていただき、地域の方との交流の機会とつづけている。適宜開催しているケアカンファレンスや会議では、ご家族様・職員の意見や要望を聞き、理念を共有し職員の想い一つにして、ケアの質の向上や運営に反映させている。職員は、研修や勉強会に積極的に参加し、知識や技術、ケアの質の向上に努めるだけでなく、他の施設との交流を図り、ネットワーク作りもしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は市内中心部より徒歩15分程度の距離で、周囲は古くからの戸建が並んでいる住宅地である。目の前には駒ヶ岳が勇壮な姿で迫っており、また眼下には海が間近に見えるなど、ここに住む人の外せられない風景が窓の外に広がっている。近隣には桜の名所が幾つも散在し、恰好な散歩コースとして活用され、落ち着いた風光明媚な環境下に立地しているといえる。建物は木造の2階建てで、和風を基調とした朴訥で穏やかな佇まいであり、周囲に溶け込んだ造りとなっている。当事業所の優秀さは、利用者の穏やかな生活を指向している点である。具体的には当事業所の設立趣旨である、森町で生活してきた人を、森町で見守るとし、漆喰と柱が郷愁を誘う和風の建物、幾つもの古い和箆笥と障子越しの玄関、窓に広がる駒ヶ岳の雄姿と内浦湾の青い海、春を迎える桜花等々と森町の特性を活かした徹底した環境造りを挙げたい。またケアについても、介護目線を止め、献立は利用者や相談してその場で作る、毎日お湯を沸かし、お風呂はいつでも入れる、といった利用者本位の支援に取り組んでいる。地元にごだわった当事業所の今後に、大いに期待したい。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 describe various service outcomes and staff performance metrics.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者様の人格を尊重し、そのらしさを支え、この地域で「おもいで」を作っていく理念を掲げ、毎日思いを一つにし実践に繋げている。	「そのらしさを支える」を理念とし、事業所内に掲げ、利用者や家族、地域の人々に約束事として提示し、職員には介護の基本である旨を示し、実践で活かせるように取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に所属し、回覧板と一緒に回したりしている。保育園や町内ボランティアの来訪もあり、地域との交流を図っている。	町内会活動に参加し、保育園児やボランティアの訪問を積極的に受け入れている。また町内の「認知症と歩む会」の講師も引き受け、地域活動の一端を担っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症に悩む方々へ、認知症介護のアドバイスをしたり、相談も随時受け付けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月毎の開催を予定しており、意見や要望をお聞きし、サービスの向上を目的とした意見交換を行っている。また、会議での意見は職員間で共有しサービスの向上・改善に努めている。	運営推進会議には、行政や包括センター、地域代表と家族、認知症と歩む会等々の参加を得ながら行事、研修、防災等について、意見交換を行っている。	推進会議は第三者が参加する貴重な意見交換の場であることから、事故やヒヤリハットについても議題として報告し、また議事録は回覧・閲覧に留まらず家族宅まで配送し、サービス向上に努めるよう期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	町の介護保険係や地域包括支援センターに相談しアドバイスをもらったり、情報を得る等、連携を取り協力体制を築いている。	行政とは、介護保険の申請・更新手続きや、法令・通知の疑似解釈、ケア会議等により何度も相談や情報交換で顔見知りの関係となっており、協力体制もしっかりと築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティングやケアカンファレンスの際に、転倒等のリスクに対して介護上の工夫を話し合い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	利用者一人ひとりの観察と検討で、リスクの範囲と可能性を共有、またセンサーの活用等々で、事前に対策を立て、拘束や抑制のいらない介護に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者が中心となり、言葉遣いやケアの状況により指導したり、全員で話し合い環境を作らないよう努めている。また、入居者様の身体及び精神状態の細かい変化に気付けるよう日々、観察している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、成年後見制度を利用されている入居者様はいないが、随時対応できる体制を作っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は十分に時間をかけて余裕のある時間で行い、サービス内容等説明し、その都度、疑問点等ないか確認している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃よりコミュニケーションを取り、気軽に言ってもらえる雰囲気作りをしている。また、信頼関係の構築に努め、意見や要望をお聞きし、運営に反映させている。重要事項説明書には、受付窓口・責任者の電話番号、第3者機関の相談窓口も提示している。	利用者からは日頃の生活に寄り添って意向や気持ちを汲み取り、家族とは訪問時に要望、苦情を拝聴している。また介護計画の更新時や運営推進会議、家族参加のイベントも活用し、意見の聴取・集約に努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関しての意見や提案は管理者がまとめて伝えている。	日々の申し送りやユニットでの会議、各場面で職員からの提案や意見を聞く場を設定し、出された意見は代表と検討するなど、よりよい介護を目指して取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	運営者は、管理者や職員の努力・勤務状況を把握し、職場環境を整備しようと努力している。また、気分転換できるよう、連休や希望休を職員に取ってもらっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の段階に合わせた研修に参加してもらい、受講後は報告書を提出してもらい、他職員と共有し意識・技術の向上に努めている。また、国家資格受験の応援にも努め、働きながら介護福祉士を受験できる環境を作っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	交流や勉強会などで意見交換や交流する機会があり、サービスの向上に繋がっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居が決まったら来訪していただき、居室等全体の雰囲気を見て貰っている。また、管理者が自宅や施設を事前に訪問し、ご家族や御本人と話し合う機会を作り、入居前に不安が解消できるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居が決まったら、連絡を取り合いご本人と一緒に来訪してもらったり、自宅訪問に立ち会ってもらい、不安や要望等話し合う機会を設け、安心できるよう信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者・介護支援専門員は、御本人様・御家族様に事前に情報収集をし、他サービス事業者や医療機関からも情報収集を得て、よりよいサービスを提供できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様の今出来ることを大切にし、生活の中で活かしていけるよう一緒に家事をしたり、食事や外出等、共に過ごす家族のような存在になれるよう努めている。また、一方的な支援にならないよう相手の想いや立場を大切にしている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話や来訪時に入居者様の様子を伝え、ご家族様からの要望もお聞きし、時には入居者様に安心してもらえるようお話していただく等、職員と共に入居者様を支えて頂ける関係を築けるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様以外の知人の面会や外出したりすることもあり、馴染みの方との関係を継続できるよう支援している。	理念で「地域の中で穏やかで楽しい生活」を提唱しており、この町での馴染みの関係を大切にしている。家族や友人、桜と駒ヶ岳等々の馴染みの景色や季節も大切に支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様の相互関係に配慮し、性格や習慣等、細かく把握し良い関係作りが出来るよう支援している。トラブル発生時は、早急に原因を把握し助言・仲介に入り双方が不快な思いをしないよう関わっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去し、入院となった方のお見舞いに行ったり、ご家族様と今後のことを話しあったり、相談受付等、関係を断ち切らず関係を保っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	仕草や表情・行動等、様々な方向から思いを汲み取り、困難な方には、ご家族様から希望や要望、意見をお聞きし、その方の立場になって検討し支援している。	日々の生活に寄り添いながら、好き嫌いから思いや希望までを受けとめ、一人ひとりの意向がかなう様に努めている。困難な場合は、今までの記録から読み取り本人本位になるよう検討し、実行している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、御本人・御家族様に生活歴、ライフストーリー等を聞き取りし、その後も大きく生活が変わらず継続できるよう情報収集し個々の暮らしを大切にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の人格を尊重し、出来る事、出来ないことを把握できるよう観察、記録に残し情報の共有と必要な事を援助し、現状の能力を総合的に判断しケアしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日の生活状況を申し送りし、日誌や記録に記入している。入居者様・御家族様の意見や要望をお聞きし、カンファレンスを開き、現状にあった計画を作成している。状況変化時は計画の見直しを行っている。	担当より、把握した毎日の生活が検討され、実態に合った介護計画が作成されている。更新は6ヶ月を目途としているが、病変や体調、新たな楽しみ等の変化があれば、検討を加えて見直し、現実に即するよう、取り組んでいる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の経過記録や日誌に日々の日常生活の様子を記入し、ケアプラン項目の記入もされているので、実践や見直しに活かし、職員間で情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様やご家族様の希望、かかりつけ医の受診、買い物への送迎等、ご家族様が対応困難な時、事業所が代行する等、柔軟な対応をしている。様々なニーズに対し、職員間で話し合いサービスの多機能化に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事等で外出する際は、事前に連絡している。個々のできること、興味のあることに参加していただいている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御本人・御家族様が希望するかかりつけ医がいる場合は、継続受診が可能。医療連携している主治医の往診も行っているため、24時間体制で診てもらえる体制も整えている。	かかりつけ医は家族と本人の希望を最優先として、通院は職員同行で対応している。往診も状況により検討し、また訪問看護もフルタイムで活用可能で、24時間安心できる医療体制を整えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携している病院の看護師による定期的な訪問看護日に状態報告し、重度化にならないよう支援している。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関に入院する際は、職員も付き添い、情報提供し、今後の方針等医師や他職員と相談している。また、医療機関と連絡を取り、お見舞いに行った際等、今後の方向性を相談員と話合う等積極的に関係作りをしている。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療連携している主治医とは、24時間体制で連絡・相談ができる。終末期の際は細かく指示をもらい出来る事・出来ないことを明確にし御家族様に書類により説明・同意を得ている。また、職員間でも方針・情報を共有している。	終末期の介護については、本人と家族の希望を基に最善の方法を家族と協力医、事業所で協議して決めることが大前提である旨を契約時に説明している。職員も看取りの介護を研修課題として、取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急蘇生法の講習を職員全員受講している。また、AED設置している。緊急マニュアルを掲示しており、必要に応じて主治医からアドバイスをもらっている。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防立ち会いで避難訓練を予定している。スプリンクラーを設置している。	火災想定で年二回の避難訓練を、地域に協力を要請しながら実施している。自然災害、特に噴火も検討し、保存食も缶詰を含め用意されている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様を尊重し、言葉遣いや態度に注意し、職員間で気がついたことは振り返り、気づきあうようにしている。排泄は職員間で暗号で報告し合いプライバシーに配慮している。	呼び名は、本人と家族の希望、要望で決めており、礼節が介護の基本と考えて対応、接している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	状態にあわせた選択肢を選び、入居者様の希望や意見を尊重し自己決定していただける環境と働きかけをし、待つ姿勢を大切にしている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常の会話や表情・体調等から思いを汲み取り支援している。御希望に添えるよう、買い物や外食等、様々なことに対応している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居者様の希望に添えるよう季節や気温、好みに配慮しながら、お洒落を楽しんでもらえるよう支援している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る事を継続していけるよう一緒に調理・片付けを行えるようにしている。季節の食材を取り入れたり、行事に合わせた献立、誕生日には好物を提供している。	献立はその日の職員が、利用者の希望と可能な食材で毎日対応している。また出向いて作ってくれるラーメンも好評であり、いつも楽しい食事を目指している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量を記録し、不足時は好物を提供したり、補食やゼリーで補っている。また、咀嚼や嚥下機能の状態に合わせ摂取しやすい形態で提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの重要性をしっかりと理解し、毎食後口腔ケアをしている。個々に合った歯科用品を使い気分や体調に配慮したケアをしている。口腔内の異常や義歯の不具合時は早急にかかりつけ医に診てもらっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄を記録し、個々に合った排泄パターンを把握し、トイレサイン等からもトイレ誘導のタイミングを計り、汚染を少なくし、トイレでの排泄を促している。	トイレでの排泄を心がけており、オムツ使用でもトイレに時間や態度を見ながら誘導している。また軽い運動や食べ物、水分摂取等に注意し、自然な排泄になるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄を記録し、水分摂取や乳製品の飲用、野菜摂取、マッサージの施行等に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	同性介助を希望された場合は同性職員で対応できるよう配慮している。また、入浴剤の使用によるリフレッシュ効果、体調に合わせた時間帯で入浴を楽しんでもらっている。	日曜から土曜まで毎日お湯を入れて、いつでも入浴できる体制で望み、週に複数回お風呂には入れる様入浴支援に取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の睡眠や生活パターンに合わせた配慮をし、季節に応じた気温・湿度にも配慮している。眠れない方には、職員とお話をしたり、温かい飲み物を提供したりと落ち着いた気持ちになってもらっている。また、疲労や体調にあわせ休息を取ってもらっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された薬情報を個人ファイルに保管し、服用している薬の副作用や目的をいつでも確認できるようになっている。内服変更時は職員間で情報を共有し身体状況の変化に留意している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	買い物や散歩、家事の手伝い等ができる環境を作り、季節に応じた行事を提供している。好物を差し入れしてもらったり、お酒を提供することもある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物や通院、自宅へ行く等個々に合わせた外出支援をし、季節ごとの行事を楽しんでいただけよう、日頃より外へ出かけられるようにしている。	月に1度はドライブに出かけ、買い物や外食も楽しめるように努めており、海や山の風景や近所の桜鑑賞を含め、散歩や事業所デッキでの外気浴を重要視しながら気軽な外出を支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理出来ない方は、金庫でお預かりし、外出時に出来る方は会計時に職員が付き添い支払をしてもらっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	代筆や電話の受け答え等の支援をしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間の窓から外を眺めたり、天気の良い日はウッドデッキで日光浴をしたりしている。季節に応じて飾り付けをしたりしている。	和風の建物内は、骨董の筆筒が随所に置かれ、障子の小窓等で、また季節の花々や簡潔な装飾で、ゆっくりと落ち着ける工夫が最大限に活かされている造りとなっている。採光も優れ、温度や湿度も適切に保たれている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	二種類のソファを置くことで、入居者様同士楽しく会話したり、一人で落ち着いて過ごしたりと思いつきに過ごせることができるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたベッドや布団、タンス、仏壇等の家具を持ってきていただき、ご家族様との写真を飾ったり、居心地よく安心できる居室になるよう配慮している。	普段から使い慣れた家具も配置され、家族の写真も貼り出される等、ゆっくりと自分の部屋として寛げるような工夫が感じられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室には暖簾や表札を掛け分かりやすくし、共有箇所には手すりが設置してある。台所では職員と一緒に立ち安全に家事ができる。		